

活動名:U9サッカーカップ (主催:ピアンコーネ福島)

日 程:平成28年9月3日 (土)

会 場:西部サッカー場メイン

参 加:E3・E4クラス (3年生) 11名

帯 同:設楽・貝和コーチ

結 果:第5位/7チーム中

報 告:設楽コーチ

総当たりリーグ

VS ピアンコーネ福島 U9	●
VS 大槻 FC	△
VS 守山 SSS	△
VS 白河 FC	○
VS ピアンコーネ福島 U8	△
VS 松川 SSS	●

結果 5位

ピアンコーネ福島さんからお誘いを受け、小学3年生以下 (U9:アンダー9) のフェスティバルに参加させていただきました。

対象はエンジョイ3クラスとエンジョイ4クラスに進級している3年生で、県内7チームが参加する総当たり戦を行いました。

アーレの3年生たちは先日、NACカップに参加しましたが4年生以下だったため年上との試合でしたので、今回は同じ年代の大会なので貴重な機会でした。

今回のような同学年のチームとの試合は良い経験になったと思います。

さて、子どもたちには以下のことを伝えて今回の試合に挑みました。

○試合以外の行動で注意すること

- ・自分勝手な行動はせず、コーチと一緒に行動すること。
- ・お菓子を許可なく食べないこと。遠足ではない。
- ・スタンドのいすを土足で踏まないこと。座るところ。
- ・コーチの話は目を見て聞くこと。 etc

○試合で頑張ること

- ・自分のコートでは外にボールを運ぶこと。
- ・相手のコートではゴールに向かってボールを運ぶこと。
- ・相手へのマークの付き方 (守り方)。
- ・相手からボールを奪う体の入れ方。

- ・シュートはただ蹴るのではなくキーパーをはずして狙うこと。
- ・相手からボールを奪う気持ちや自分が得点する気持ちを出してプレーすること。

etc

試合に前に子供たちへ伝えると真剣な表情で話を聞いてくれていました。

また、アーレのE3クラスの子たちは以下のような条件でした。

- ・アーレの練習では8人制のゲームはやっていない。
- ・今回のコートのように大きなスペースの試合もやっていない。
- ・キーパーを希望する子がいない。
- ・ポジションが決まっていない。
- ・入会したばかりの子が数名いる。

このような状況ですが、11人の子供たちが必ずその試合には交代で出場できるように配慮して、様々な経験をして学んでほしいという気持ちでした。

そのため、試合では常に声をかけて「気付かせ」、「頑張る気持ちを出させ」、戦ってもらいました。難しい戦術などはできないので、前述した「試合で頑張ること」の簡単な誰でもチャレンジできるプレーを常に意識して繰り返してもらいました。

初戦は自分のポジションなんて関係ない動きや、「ボールウォッチャー（相手やポジションに関係なくボールばかり見ること）」になって団子サッカー（見方同士ボールに固まってしまうこと）を繰り返していました。一戦一戦を積み重ねるごとに個々に自分のプレーとしてできるようになってきました。

今までやってきたE3練習として、ドリブルで自分がどこまで抜けるかのチャレンジが今回のプレーの主でした。

そのため、ドリブルでチャレンジしてシュートまでいく場面はありましたが、ボールを自らドリブルでコントロールする技術はまだまだ足りません。個人のボールコントロールを身につけてほしいですね。また、4年生にはパスなどの練習ができるようにレベルアップを図りたいと思います。ドリブルだけでは何人も抜けないことに気づくことも今回の目的でした。そのことに気づき徐々に見方をつかったパス交換なども練習で取り入れたいと思います。

暑い日の6試合は体力がある子と無い子をはっきりと出てきてしまい、昼食後の二試合はプレーにスピードも無くなり厳しい戦いとなってしまいました。

この年代のサッカーは相手チームに一人でもフィジカル（体力や筋力、瞬発力など）が高い子がいると普通の子はボールを奪うことができません。

そのため、そのチームに負けるといったことよりもその特定の子に得点を奪われて個々で負けてしまっただけの結果という状況なので勝敗を気にする必要は無いと思います。

6年生になった時にはある程度同じフィジカルに近づくので、それなりの同等な戦いができると思います。従って、今回の大会では勝ち負けよりも、子どもたち個々に「今できること」、「できないこと」に気づいてくれて、明日からの練習で目標をもって取り組んでくれればと思います。

入会したばかりの子たちもいる中で、チームワークもなかなか創造できない状況で、今日一日を通して仲間意識や互いの関係などを築きながら良く戦ってくれました。素晴らしいプレーも見られ頼もしく感じました。

お誘いいただきましたピアンコーネ福島の関係者の方々、参加されたチームの方々に感謝いたします。有難うございました。

そして、暑い中子どもたちに大きな声援をいただいた保護者の方々にも大会にご参加いただき有難うございました。

私たちコーチ陣は、この子たちが6年生になった時にどのくらい成長して逞しくなってくれるかを日々の練習で関わりながら楽しみにしております。今回の大会での沢山の良いところ、その他の技術の課題などがみつき練習に活かしていきたいと思います。

コーチ：設楽





